

平成27年度の重点対策について(首都直下地震)

使命	重要テーマ	重点対策
首都圏の 人命を守る	【テーマ1】 地震や津波から首都圏に暮らす多くの命を守る。	① 環状6号線から8号線の間をはじめとして広範囲に存在する木造住宅密集市街地のうち「地震時等に著しく危険な密集市街地」をH32年度までに概ね解消する。 ○ 想定される深刻な事態をビジュアルに伝えるなど国民一人一人が高い防災意識を持ち、自助・共助による被害軽減を実現させるため、リスクコミュニケーションを展開する。
	【テーマ2】 過密な都市空間における安全を確保する。	② 首都直下地震で強い揺れが想定される地域において、利用者が多い等一定の要件を満たす鉄道施設については、H29年度を目標年度として、耐震対策を推進する。 ③ 主要駅周辺等における都市再生安全確保計画等の策定を促進する。 ④ [災害発生状況を迅速かつ的確に把握するため、官民が保有する車両の通行実績等(ビッグデータ)を活用したシステムを構築し、H26年度から試行を開始予定。] ○ 道路管理者(国、都、高速道路会社)や関係機関と連携して策定する道路啓開計画について、訓練による検証等を進めながらスパイラルアップを図る。 ○ オープンデータを活用した歩行者移動支援の普及促進のためのガイドライン(仮称)をH27年度内に取りまとめる。
	【テーマ3】 膨大な数の被災者・避難者の安全・安心を支える。	⑤ 関係機関と連携し、H27年度までに、基幹的広域防災拠点、羽田空港、荒川等を活用した災害支援物資輸送計画を策定する。 ○ 災害発生時に活用可能な船舶を迅速に選定するプログラム(平成26年度中完成予定)を、災害支援物資輸送計画策定の際に実施する訓練に活用し、民間船舶手配に係る情報連絡を円滑化する。
	【テーマ4】 地震後の二次災害や複合災害にも備える。	⑥ 江東デルタ周辺のゼロメートル地帯において、津波の来襲または地震による堤防の被災等に伴う浸水被害を防止・軽減するための総合的な対策を推進する。 [江東デルタを対象とした河川堤防等の緊急復旧計画や排水計画をH26年度に策定予定。] ⑦ 土砂災害の拡大に対し、災害リスク評価に基づいた重点的な緊急点検・応急対策の実施体制を強化する。 ○ 民有護岸等に対する無利子貸付及び税制の特例措置により、航路沿いの民有護岸等の耐震改修をはじめとしたコンビナート港湾の強靱化を推進する。
首都中枢 機能を 継続させる	【テーマ5】 我が国の首都中枢機能の麻痺を防ぐ。	⑧ 災害時にネットワーク全体で緊急輸送道路として機能することが期待される首都圏3環状道路の整備を推進する。 (H27年度までに約8割が開通予定) ⑨ 国・港湾管理者からなる港湾広域防災協議会において、航路啓開手順等を検討する。
	【テーマ6】 首都中枢機能の被害はあらゆる手段で迅速に回復させる。	⑩ H27年度は、関係機関とインフラ緊急復旧に係る訓練及び協定の締結を推進する。 ㊦ [H26年度までに代替輸送を含めた交通モード横断的な旅客輸送確保マニュアルを策定予定。]
首都圏を 復興する	【テーマ7】 長期的な視点に立ち、時代に即した首都圏の復興を目指す。	—
[重要課題]	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催をどう支えるか。	—

緑:[H26年度までに実施し、完了予定]

青:H26年度重点対策を修正

赤:H27年度重点対策として新規登録